



信夫第二小学校 学校便り

きらら

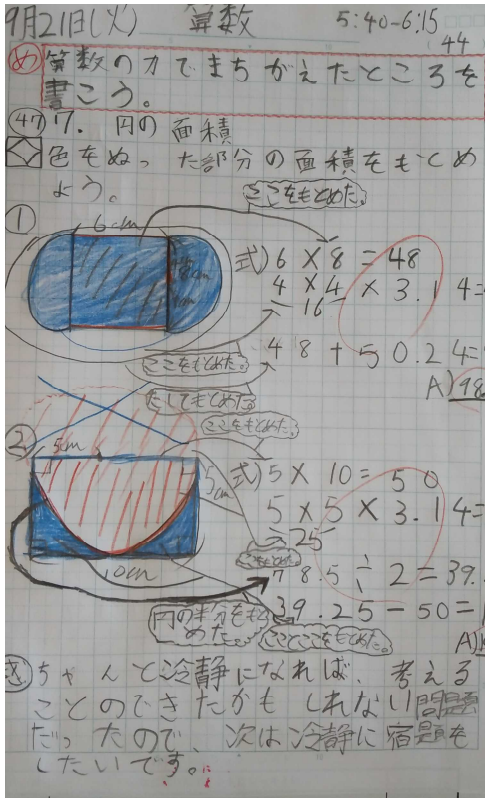
〈教育目標〉

「めあてを持ち、やりぬく子ども」の育成

- よく考える子ども (学習: 学力)
- 思いやりのある子ども (生活: 人間力)
- 体をきたえる子ども (健康: 体力)

No.17 令和3年9月24日(金)発行

実りの秋～8つの家庭学習力の向上に向けて～



本校の学校経営の重点事項は3点あります。「あいさつの徹底」「家庭学習の充実」「肥満解消・体力向上」です。この3点を1年間かけて全職員で指導することで、確実に目に見えて子どもたちが変化するようにしたいと考えています。その3つのうち、今回は「家庭学習の充実」についてふれたいと思います。

家庭学習は、お家で行う学習ですので、各家庭との連携が欠かせません。そして、学力を高めつつ、家庭学習力(非認知能力と学力に関する8つの力)を育てたいと考えています。家庭学習力は、以下の8つです。

- ・大切な勉強をこつこつする力(学習習慣)
- ・健康な生活をする力(生活習慣)
- ・自分から進んでとりくむ力(自律心)
- ・自分で決めて勉強する力(自己学習力)
- ・やりたくないこともがんばる力(自己コントロール)
- ・自分のふり返りをしてよりよくする力(自己マネジメント力)
- ・おとなになっても学ぼうとする力(生涯学習力)
- ・自分をもっと成長させる力(自己成長力)

上記のノートは、6年生児童の自主学習ノートの1ページです。この自主学習の素晴らしさ、おわかりいただけますよね。1ページやらなければならないから1ページとりあえず字でうめたノートではないのです。授業や宿題で自分が間違えてしまった問題を、学び直しています。自分の間違いを分析し、どうすれば間違えずにすむか考えています。特に、算数は、式や図、言葉を関連付ける学習が重視されていますが、それをしっかりと行っています。

私は、このノートを見たとき、「もう二度と同じ問題で間違えないぞ!」「1つ1つの計算の意味を確認して、図と結びつけながら解決していくぞ」という声が聞こえてきた気がしました。

上手なノート作りというと、字の丁寧さや見た目の美しさのみをイメージするかも知れませんが、自分の学習のために本気で取り組んでいるその素晴らしさをしっかり見取って評価することが大事だなあと感じています。この6年生のノートには、

- ・自分で決めて勉強する力(自己学習力)
- ・自分のふり返りをしてよりよくする力(自己マネジメント力)
- ・自分をもっと成長させる力(自己成長力)

この3つの高まりが表れていますね。本当に素晴らしい学習です。



10/2(土)は親子奉仕作業!ファイナルです!!

実施の詳細については、すでにお知らせしているとおりです。マスク着用の場合は1m、未着用の場合は2m以上の十分な間隔を保つなど、コロナ対策をした上での実施となります。

信夫二小最後の奉仕作業です。ご協力をよろしくお願いいたします。